



\*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。  
 小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

## 多様な世代の福祉活動を支援します

### 「福祉活動をはぐくみ、広げたい」 ゆい福祉基金が支援対象を拡大へ



左から、ゆい福祉基金の横山 梅子さん、掛谷 壽香さん、廣田 加代子さん

社会福祉法人慈恵会では、創設者の遺志を継いで、平成25年に「ゆい福祉基金」を設立しました。福祉活動実践者の表彰やイベント実施、高齢者グループの福祉活動支援を行ってききましたが、ここ数年のコロナ禍では、高齢者だけでなく幅広い年齢層でボランティアなどの福祉活動が制限されました。

慈恵会の地域福祉推進室では「若い人の活動も応援し、つながっていくことが大切になってくる」と考え、「多様な世代が取り組む 支え合い活動応援助成金」として福祉活動助成についての会則を改訂し、高齢者グループ、パパ・ママグループ、学生グループなど幅広い福祉活動を応援することにしました。

申請書類を持参してもらうことで一度は直接対面してつながること、使途は備品などの購入費であることなどを条件に先着順で随時受付、1グループ3万円(年間15団体を想定)を助成するとのことです。

助成の詳細など記事に興味のある人は☎社会福祉法人慈恵会

☎(585)4533 FAX(585)5675



ホームページ

## ふるさと納税の状況について

本市のふるさと納税は、これまで「こどもの成長を大切にすまちなち応援事業」や「読書日本一のまち応援事業」など寄附の使い道を充実させるとともに、魅力ある返礼品の拡充に取り組むことにより、令和3年度のふるさと納税額は、前年度比2.2倍の3億円を超え、初めて、寄附受入額が市民税控除額を上回ったところです。

しかしながら、寄附受入額からふるさと納税に係る返礼品代などの経費(寄附額の50%)を差し引くと赤字が続いているとともに、市民の皆さまが他の自治体へのふるさと納税を行ったことによる市民税控除額も年々増加し、市税の減収額が拡大している状況にあります。

こうしたことから、令和4年度は、さらなる魅力ある返礼品の充実はもちろんのこと、新たなポータルサイトの導入や寄附の使い道に市民活動団体を指定して寄附できる「豊かな市民活動のまち応援事業」を追加するなど、制度の充実に取り組んでいます。

☎企画政策課

☎・有(582)1162 FAX(582)0539

